

2023
7-9月期



京都企業の

BSI値

Business survey index

インバウンドや個人消費回復が期待される一方
 自社業況はコスト増の負担から下降に転じる

実績

予想

規模別の業況

国内景気

インバウンドや個人消費のさらなる回復が期待され、BSI値はプラス圏内で推移。

自社業況

価格転嫁を上回るコスト増により収益や資金繰りの悪化が続き、BSI値はマイナスに転じる。

10～12月期も堅調に推移する見通し。

自社業況

10～12月期は観光シーズンや年末需要により上昇に転じ、その後はほぼ横ばいで推移する見通し。

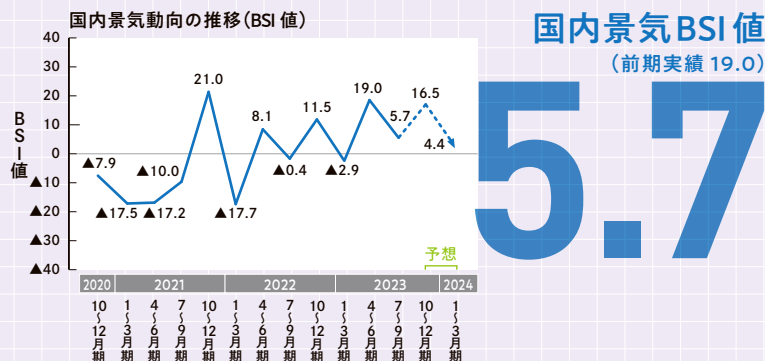
国内景気BSI値は、規模を問わず上昇し、堅調な推移を見込む。自社業況BSI値は、

上昇を続ける大企業に対して中小企業が下降に転じた。今後、中小企業の下降幅は縮小する見込み。

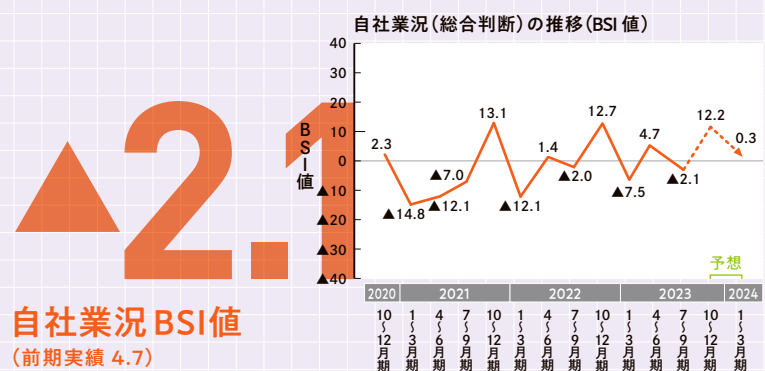
1 概要

今期の国内景気BSI値は5.7(前期実績19.0)と、上昇幅は縮小したものの、プラス圏内で推移した。原材(燃)料価格高騰の影響は依然受けつつも、インバウンドや個人消費のさらなる回復への期待感を反映し、多くの業種で上昇した。

今後の予想については、10～12月期は16.5と上昇傾向を強め、続く2024年1～3月期も4.4と、堅調に推移する見通し。



国内景気BSI値
 (前期実績 19.0)
5.7



自社業況BSI値
 (前期実績 4.7)
2.1

今期の自社業況BSI値は▲2.1(前期実績4.7)と幾分下降した。価格転嫁の広がりや上回る原材(燃)料価格の高騰や人件費負担の増大によって、企業の収益や資金繰りの悪化が続き、BSI値はマイナスに転じた。

今後の予想については、10～12月期は12.2と観光シーズンや旺盛な年末需要を転機に上昇に転じ、2024年1～3月期は0.3と、ほぼ横ばいで推移する見込み。

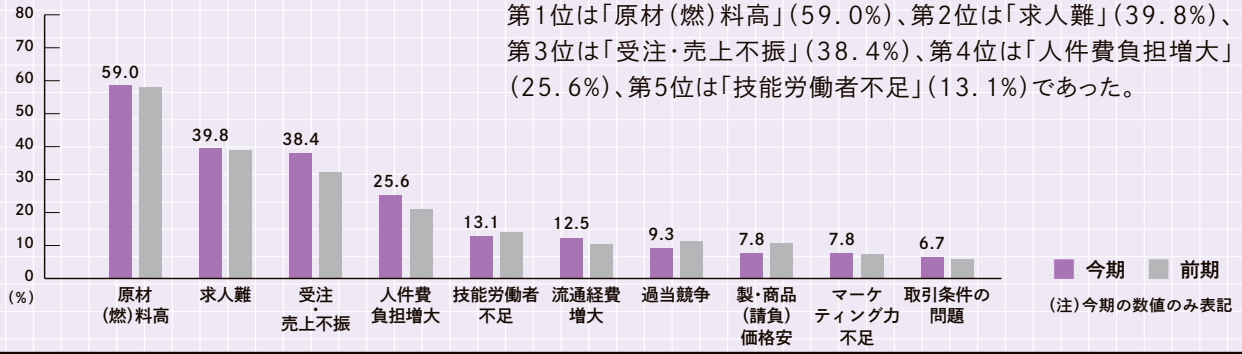
2 BSI値の総括表

(注)7～9月期のBSI値は、4～6月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

		実績		予想	
		2023年4～6月期	2023年7～9月期	2023年10～12月期	2024年1～3月期
京都企業の経営動向	国内景気動向	19.0	5.7	16.5	4.4
	自社業況(総合判断)	4.7	▲2.1	12.2	0.3
	1. 生産・売上高、工事施工高	3.0	▲1.5	15.8	▲1.4
	2. 製・商品・サービス・請負価格	14.4	11.4	13.0	9.1
	3. 経常利益	▲2.5	▲8.8	4.6	▲5.5
	4. 所定外労働時間	1.0	▲4.2	8.1	▲1.1
	5. 製・商品在庫	5.6	5.6	3.1	4.2
6. 資金繰り	▲0.5	▲3.5	▲0.1	▲0.5	

(注)BSI値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

3 当面の経営上の問題点



第1位は「原材料(燃)料高」(59.0%)、第2位は「求人難」(39.8%)、第3位は「受注・売上不振」(38.4%)、第4位は「人件費負担増大」(25.6%)、第5位は「技能労働者不足」(13.1%)であった。

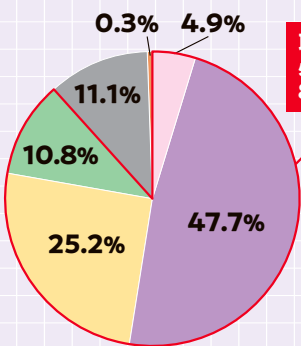
4 附帯調査 -ピックアップポイント-

デジタル化の取り組み・ITツールの導入状況

▶ 半数以上が着実に取り組みを進めるも、人材や費用面での課題も

デジタル技術を活用した業務効率化やビジネス変革に関する取り組み状況
<単一回答>

- 全体の88.6%が必要性を認識し、うち、全体の半数以上の52.6%が着実に取り組みを進めている。一方で、36.0%の企業が取り組みに課題を抱えている。
- 業種別では、「取り組んでいる」は小売業(60.0%)で最も多く、サービス業(51.1%)、建設業(50.0%)でも多く回答があった。一方、運輸・倉庫業では「取り組みが遅れている(35.3%)」、「取り組めていない(23.5%)」が他業種に比べて多く、取り組みへの課題が目立つ結果となった。
- 規模別にみると、大企業では約70%の企業が着実に取り組みを進めており、課題を抱えている企業は約25%に留まった。中小企業では、着実に取り組みを進めている企業が約46%、課題を抱えている企業が約40%であり、デジタル化の取り組みを必要とする企業のおよそ半数が何らかの課題に直面している。



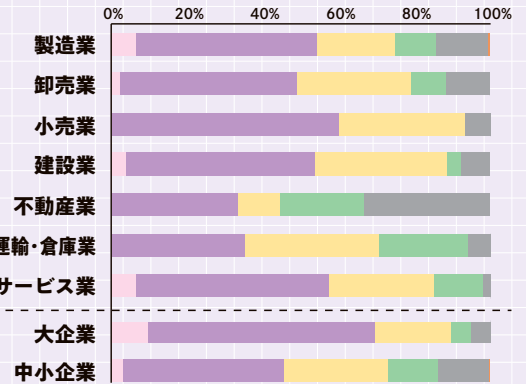
業種別規模別回答内訳

- 必要性があり最優先で取り組んでいる
- 必要性があり取り組んでいる
- 必要性はあるが取り組みが遅れている
- 必要性はあるが取り組めていない
- 必要性が低く取り組んでいない
- その他

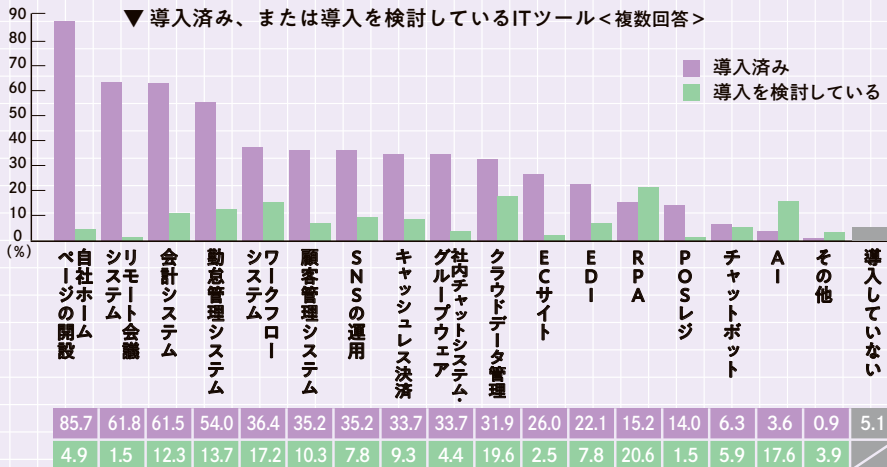
取り組みが必要である 88.6%

着実に取り組みを進めている 52.6%

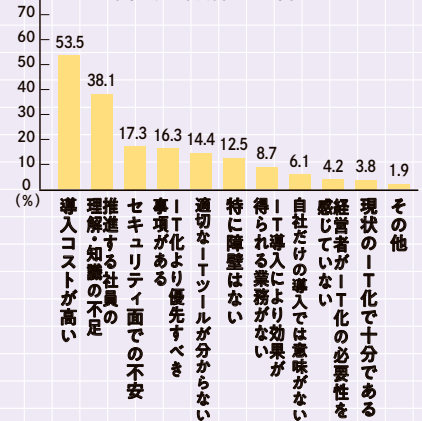
取り組みに課題を抱えている 36.0%



▼ 導入済み、または導入を検討しているITツール<複数回答>



▼ IT導入が進まないまたは進みにくい理由<該当項目3つ以内>



京都企業のBSI値：8月中旬から9月上旬にかけて同調査を実施し、506社中344社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。

【お問い合わせ】 中小企業支援部 ☎075-341-9780 調査結果概要は本所ホームページからダウンロードできます。 [京都商工会議所 BSI値 検索]